

人事異動

1. 新任

総務部長 佐々木正幸
研究部長 奈良 孝一

掲示板

研究会・研修会等への

報告者・講師の派遣

(平成十八年四月)

平成十八年六月

○「北海道冷凍食品協会25周年記念大会」

主催 北海道冷凍食品協会
とき 平成18年4月27日

テーマ 北海道農業の将来展望
講義 太田原高昭
(当研究所・所長)

○「営農企画部門担当者研修会」

主催 北海道JAカレッジ・北農中央会

とき 平成18年5月16日
テーマ 地域マネジメントシス
テム構築の手順
講義 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○「報徳研修会」

主催 北海道報徳社
とき 平成18年5月31日
テーマ 報徳と現代
講義 太田原高昭
(当研究所・所長)

○「青果物の『安心・安全の取組』に係わる研修」

主催 ホクレン(種苗園芸部)
とき 平成18年6月12日

テーマ 青果物のトレーサビリティおよびGAPの現状と課題
講演 酒井 徹
(当研究所・専任研究員)



編集後記

「韓国」について、ちょっと興味を抱き感じたことを述べたいと思います。

日本と韓国は最も近い国なのに、靖国、独島等でマスコミが騒

ぎ過ぎて、日本とはすんなりと交流ができていない状況となっております。あまりにも近すぎて過去の利害関係がありすぎたからでしょうか。

それはともかく、私は冬のソナタのドラマですっかり「韓流」にはまってしまったひとりです。その後も次々と放映される韓国ドラマをあきれるほどに見続けています。妻を含めた中高年婦人の熱況ぶりのほどではありませんが。

韓国俳優の感情表現が自然で良いこと、年齢のせいかドラマによつては他人には絶対見せない涙がでる場面もあります。ドラマで共通しているのは、妥協を許さない純粹な愛、富裕層と貧民層、複雑な血縁関係、病氣と事故等でありきたりですが何度みても飽きずに感動して見えています。それはなぜなのか不思議です。ドラマには当然のごとく決まった台本というものがありません。

